

§.2. 整数

§.2.1 約数と倍数

Def. (約数, 倍数)

0でない整数 a が 整数 b を割り切るとき、
($b = ac$ とかける $c \in \mathbb{Z}$ が存在するとき)

$a \in b$ の約数, b は a の倍数とす。

$a|b$ とかく。

//

Eg (例) $\circ a = 6, b = 24$ のとき

$6|24$ である ($24 = 6 \times 4$)

$\circ a = 6, b = 25$ のとき

$6 \nmid 25$ である。

Def. (素数)

1 と自分自身以外に約数をもたない
正の整数であって 1 ではないものを素数
という。

//

Eg 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, ...

Prop. (命題)

素数は無限個存在する。

//

Pf. (証明)

言明してあげる

素数は有限個であると仮定する。
そこで全ての素数を小さい順に
並べよ。

$$p_1 < p_2 < p_3 < \dots < p_n$$

ここで次の数を考える

$$N = \underbrace{p_1 p_2 \dots p_n}_{\text{全ての素数の積}} + 1 \in \mathbb{Z}$$

N の定数から $p_i \nmid N$ ($i=1, 2, \dots, n$)

(i から素数の定数より N は素数)

よって $N \neq p_i$ ($i=1, 2, \dots, n$) より

仮定に反する。ゆえに素数は無限個 \square

Thm (定理)

任意の $n \in \mathbb{Z}$ は $n = \pm p_1^{e_1} p_2^{e_2} \dots p_r^{e_r}$

(p_1, p_2, \dots, p_r は相異なる素数)

の形にかけよ。これを n の素因数分解といふ。

すなわち p_1, p_2, \dots, p_r の n と n の素因数といふ。

Ex $504 = 2^3 \cdot 3^2 \cdot 7$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 504} \\ 2 \overline{) 252} \\ 2 \overline{) 126} \\ 7 \overline{) 63} \\ 3 \overline{) 9} \\ 3 \end{array}$$

Def

$a, b, d \in \mathbb{Z}$ に対し $d | a$ かつ $d | b$ かつ d は a, b の公約数と... その中で最大のものを 最大公約数 といふ.

greatest common divisor

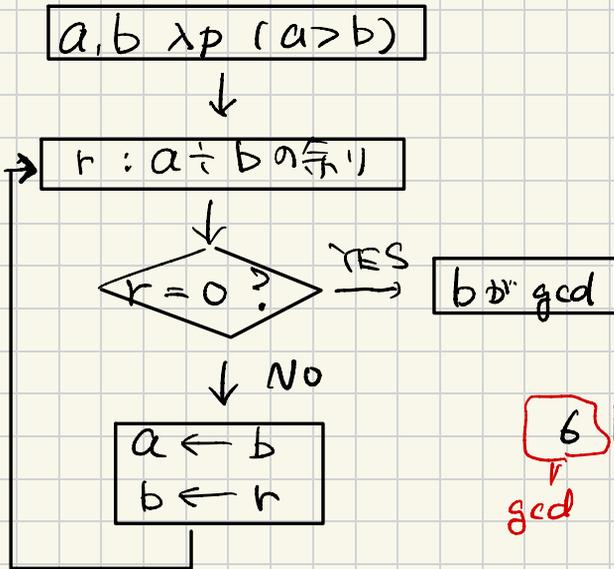
$\gcd(a, b) \leq \min(a, b)$

Eg $\gcd(1800, 3780) = 2^2 \cdot 3^2 \cdot 5 = 180$

$1800 = 2^3 \cdot 3^2 \cdot 5^2$
 $3780 = 2^2 \cdot 3^3 \cdot 5 \cdot 7$

§2.2 ヲ〜クリットンの互除法

プロセス



例1 $a = 3780$
 $b = 1800$

		10		2	
	1800)	1800)	3780
			1800		3600
			0		180

gcd.

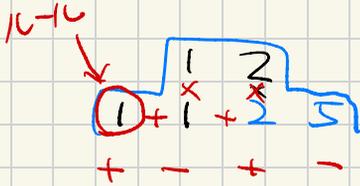
例2 $a = 282$
 $b = 222$

	3		2		1		3		1		
	6)	18)	42)	60)	222)	282
			18		36		42		180		222
			0		6		18		42		60

gcd

安藤式 Euclid 互除法の逆算法

$54x + 21y = 3$ の整数解を1つ求めよ.



$$\begin{cases} x = 2 \\ y = -5 \end{cases}$$

	3	1	1	2
3	9	12	21	54
	9	9	12	42
	0	3	9	12

gcd

$$\begin{aligned} & 54 \times 2 + 21 \times (-5) \\ &= 108 - 105 = 3 \quad \text{OK} \end{aligned}$$

§.2.3 mod 計算

~ 13:40

Def

$a, b \in \mathbb{Z}$ と $n \in \mathbb{N}$ に対して

$$a \equiv b \pmod{n} \iff n \mid (a-b)$$

Def.

このとき a と b は n による法則で合同といふ。□

$$a \equiv b \pmod{n} \iff n \mid (a-b)$$

$$\iff a-b = nc \quad (c \in \mathbb{Z})$$

$$\iff a = nc + b$$

∴ $a \in n\mathbb{Z}$ 割った余りは b と可なり
($a = nk + b$)